

### みずほCustomer Desk Report 2018/08/09号 (As of 2018/08/08)

国際為替部 為替営業第二チーム

#### 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	111.45 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.35	1.1603	129.19	1.2944	0.7426
SYD-NY High	111.44	1.1628	129.45	1.2960	0.7439
SYD-NY Low	110.84	1.1574	128.57	1.2854	0.7383
NY 5:00 PM	110.96	1.1611	128.81	1.2882	0.7435
NY DOW	25,583.75	▲ 45.16	日本2年債	-0.1100	0.00bp
NASDAQ	7,888.33	▲ 4.66	日本10年債	0.1100	1.00bp
S&P	2,857.70	▲ 0.75	米国2年債	2.6718	0.00bp
日経平均	22,644.31	▲ 18.43	米国5年債	2.8338	▲ 1.02bp
TOPIX	1,744.71	▲ 1.34	米国10年債	2.9628	▲ 1.30bp
シカゴ日経先物	22,580.00	▲ 105.00	独10年債	0.3955	▲ 1.10bp
ロンドンFT	7,776.65	58.17	英10年債	1.3125	▲ 1.15bp
DAX	12,633.54	▲ 14.65	豪10年債	2.6730	0.20bp
ハンセン指数	28,359.14	110.26	USDJPY 1M Vol	6.28	0.08%
上海総合	2,744.07	▲ 35.30	USDJPY 3M Vol	7.28	0.08%
NY金	1,221.00	2.70	USDJPY 6M Vol	7.55	0.00%
WTI	66.94	▲ 2.23	USDJPY 1M 25RR	-0.93	Yen Call Over
CRB指数	193.04	▲ 1.46	EURJPY 3M Vol	8.05	0.14%
ドルインデックス	95.05	▲ 0.16	EURJPY 6M Vol	8.43	0.11%

#### 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月8日	08:50	日 日銀金融政策決定会合 主な意見	-	-
	12:05	豪 ロウ豪中銀総裁 講演	-	-
	12:14	中 貿易収支	7月 \$28.05b	\$38.92b
	12:14	中 輸入(前年比)	7月 27.3%	16.5%
	12:14	中 輸出(前年比)	7月 12.2%	10.0%
	21:45	米 ラッカー・リッチモンド連銀総裁 講演	「米経済は追加利上げを正当化できるほど強い」	

#### 【本日の予定】

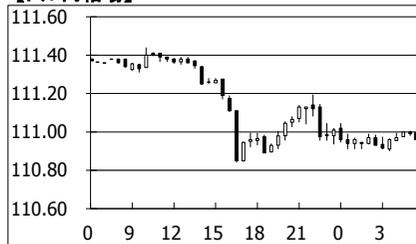
Date	Time	Event	予想	前回
8月9日	10:30	中 PPI(前年比)	7月 4.5%	4.7%
	10:30	中 CPI(前年比)	7月 2.0%	1.9%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	220k 218k
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	7月 0.2%/3.4%	0.3%/3.4%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	6月 0.0%	0.0%

**アジア**  
東京時間のドル円は111.35レベルでオープン。本邦勢による実需フローが散見される中、公示仲値にかけて上昇する展開となり111.44をつける。その後は夏枯れ相場も意識される中、特段目立った材料もなく動意に乏しく横這い推移。前日比プラス圏で推移していた日経平均株価が前日比マイナス圏まで転落すると、ドル円も連れ安となり朝方の安値を下抜けて111.25まで反落。その後、日経平均株価が一時プラス圏まで値を戻すもドル円は上値の重い展開が続き、結局111.17まで下値を切り下げ、111.19レベルで海外へ渡った。

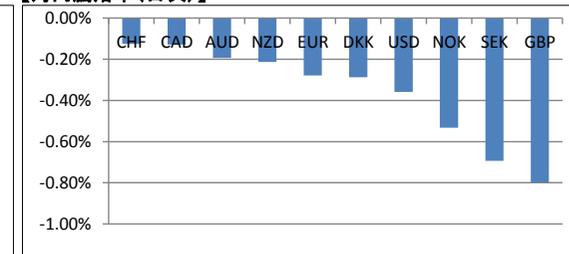
**ロンドン**  
ロンドン市場のドル円は111.19レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎドル円は軟調な展開が続く中、7営業日ぶりの水準である110.84円まで一時低下した。その後、対他通貨でドル買い優勢地合いになるとドル円も反発する展開となり下げ幅を回復。結局111.12レベルでNYに渡った。ポンドは1.2941レベルでオープン。BOEのマクアティー委員による「通商問題において英国がより良好な状況にあるとは考えることは難しい」との発言が材料視されポンドは弱含む展開。11ヶ月ぶりの水準である1.2855まで下落しNYに渡った。

**ニューヨーク**  
海外市場のドル円は、上海株下落や英国の合意なきEU離脱リスク懸念などを背景に円買いが強まり、7月31日以来となる110.84まで下落したが、対他通貨でのドル買いにサポートされ111円まで回復し、111.12レベルでNYオープン。朝方に流れたヘッドライン「中国が米国製品160億ドル規模に対する報復関税を8月23日に発動」を受け、ドル円は111.04まで下落するも反発は薄く、111.19まで回復。しかし、米金利低下を受けたドル売りや、原油価格下落を嫌気した米株下落を受けて、ドル円は110.90まで下落。米株が下げ幅を縮小し、米金利も上昇に転じるとドル円は下げ渋ったが、翌9日から10日にかけてワシントンで開催される日米通商協議への警戒感も高まるなか、戻りは鈍く結局110.96レベルでクローズ。この日、関係筋の情報として米国とメキシコがNAFTA自動車協定で週内の合意に向けて作業を進めていると報じられた。一方、ユーロはポンドに連れ安となりロンドン時間に1.16台前半から1.1580まで下落し、1.1584レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.1574まで下落したが、ロンドンフィクシングにかけて買い戻しが優勢となり1.1609まで上昇。一旦小弛むも、再び1.1620まで上昇し、1.1611レベルでクローズ。この日、関係筋の話としてEU離脱交渉が不調に終わったことから、合意なきEU離脱に備えて英首相が9月初旬に内閣首脳陣の会合を開催する計画があると報じられた。

#### 【ドル円相場】



#### 【対円騰落率(日次)】



#### 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.20-111.50	1.1500-1.1650	128.00-129.50

#### 【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場は、海外時間に入り、フロー主導でドル円は下落。節目の111円を抜け、50日移動平均線レベルの110.85円付近まで下落。しかし、同水準をクリアに抜けられない中、買い戻しが入ったことや、米金利が上昇したこと等を受け、ドル円は戻す展開。米10年債入札後は、金利が低下する中、ドル円は下落し、結局110円台で引け。本日については、日米貿易協議の結果が重要となるが、お盆休みを控え、ドル円は軟調に推移する可能性がある。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 藤巻・鶴田